

日本鉄鋼協会記事

第1回評議員会 日時: 7月18日(水) 16:00 時開会. 会場: 協会々議室. 出席者: 委任状とも 127 名.

議案 第1号 理事1名補欠選挙の件—田畑新太郎君当選.

第2号 定款中一部変更の件—原案を一部修正の上可決.

第3号 定款施行細則中一部変更の件—原案を一部修正の上可決.

第5回理事会 日時: 7月18日(水) 16:30 時開会. 会場: 協会々議室. 出席者: 三島会長ほか 23 名.

報告事項 I. 編集委員会に関する件. II. 企画委員会に関する件. III. クリーブ試験研究組合に関する件. IV. ラテライト研究部会に関する件. V. 秋季大会準備に関する件. VI. 塑性加工講演会共催の件. VII. 北陸支部に本年度支部補助金並びに渡辺記念講演会開催資金交付の件.

協議事項 I. 原子力研究委員長交代の件. II. 英国鉄鋼視察団歓迎委員会設置の件. III. 日本学術会議会員候補者推薦の件. IV. 借成学術奨励金候補者推薦の件. V. 海外鉄鋼事情調査委託の件. VI. 6月中収支決算の件. VII. 6月中入退会その他会員異動の件.

第5回編集委員会 日時: 7月24日(火) 17:00時開会. 会場: 協会々議室. 出席者: 松下理事ほか 19 名.

報告事項 I. 会誌第8号(7月号)完成および第9号(8月号), 第10号(臨時増刊一分塊分科会報告書)完成予定について. II. 会誌第9号掲載随想について. III. 秋季講演大会前刷原稿について. IV. 抄録委員委嘱について.

協議事項 I. 会誌第8号の講評. II. 寄稿論文の審査. III. 会誌第12号(10月号)掲載論文の選定. IV. 会誌バックナンバーの複製刊行契約申出について.

第5回企画委員会 日時: 7月26日(木) 17:00 時開会. 会場: 協会々議室. 出席者: 伊木理事ほか 10 名.

報告事項 I. 維持会費醸出承諾状況について. II. 英国鉄鋼視察団来日について.

協議事項 I. 本多記念賞候補者推薦について. II. 東洋レーヨン科学技術研究助成候補者並びに科学技術賞候補者推薦について. III. 毎日学術奨励金候補者推薦について.

原子力研究委員会委員長交代 三島委員長辞任, 長谷川委員が新たに委員長に委嘱された.

英国鉄鋼視察団歓迎委員会設置 本会の海外鉄鋼技術交流に関する事業の一端として, 英国鉄鋼協会 (The Iron and Steel Institute) と協議の上, 同協会との間に交互に鉄鋼視察団を派遣することを取り決め, まず明38年4月に英国より約 15 名の鉄鋼技術者, 研究者より成る一行が来日 (明年秋にはわが国の視察団を英国に送る予定) することになったので, その準備のため7月18日開催の理事会において本会内に英国鉄鋼視察団歓迎委員会を設置することを決定, 次の諸氏が委員に委嘱された.

委員長—三島徳七 副委員長—俵 信次 委員—伊木常世, 小野健二, 桂寛一郎, 川村宏矣, 近藤八三, 作井誠太, 武田喜三, 俵 隆治, 藤本一郎, 松下幸雄, 村田 巖, 安原武彦, 吉崎鴻造, 吉田道一

三島会長の栄誉 イタリア冶金協会 (Associazione Italiana di Metallurgia) より, 本会々長三島徳七博士に対し, 1962 年度 Luigi Losana 金牌を贈呈することに決定した旨通知があつた. 同金牌はイタリア金属界における唯一最高の賞牌であり, 毎3年目に金属界に貢献のあつた世界各国の冶金学者に贈ることになっており, 1950年創定以来の受賞者は次の通りである.

1950: Prof. G. CHANDRON, 1952: Prof. J. CHIPMAN, 1954: Prof. HUME ROTHERY, 1956: Prof. W. O. KOSTER, 1958: Prof. W. G. BURGERS.

支 部 記 事

北海道支部

春季講演会 (金属学会支部共催) 日時: 6月18日, 19日. 会場: 北大クラーク会館大集会室.

講 演

- | | |
|--|-------------|
| 1. 焼結原料の造粒性について | 富士鉄 榊原経臣ほか |
| 2. けい酸を含む酸化鉄の炭素による還元について | 北大 谷村トホルほか |
| 3. 溶銑および溶滓の粘度測定法について | 富士鉄 奥野嘉雄ほか |
| 4. 耐候性高降伏点鋼 (Zirten) について | 日本製鋼 山田国雄ほか |
| 5. Cr-Mo-V 鋼のクリープ破断強度におよぼすオーステナイト粒度の影響について | 日本製鋼 熊田有宏ほか |
| 6. 亜鉛—インヅウム—錫三成分系の熱力学 | 中村義男ほか |
| 7. 酸性平炉におけるいわゆる Si のもどりについて | 日本製鋼 中川義隆ほか |
| 8. リムド鋼塊硫黄の偏析機構について | 富士鉄 泉 総一ほか |
| 9. 鋼の変態に伴う硫化物の挙動につて | 北大工 松原嘉市 |
| 10. 極軟リムド鋼板の加工と介在物について | 富士鉄 斎藤 勲ほか |
| 11. 普通鍛錬法による割疵およびザク疵の鍛圧着の研究 | 日本製鋼 鹿野昭一ほか |
| 12. 温間鍛錬法について | 日本製鋼 鹿野昭一ほか |

特別講演

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 衝撃と金属 | 東京工業大学教授 作井誠太 |
| 2. 鋼材溶接の趨勢 | 名古屋大学教授 関口春次郎 |